

西川まさよし

後援会だより



発行 2008年1月 住所 彦根市下西川町687 TEL 0749-43-4988 発行責任者 百々伊三郎

もつと元気なまちづくり!

ご家族お揃いで新しい年をお迎えることとお慶び申し上げます。

日頃は皆様の温かいご支援、ご指導を賜り誠に有り難うございます。昨年4月の市議会議員の選挙では、皆様のご支援、ご指導のお蔭で当選をさせていただき、日々議員として活動を展開させて戴いております。

しかしながら初めての経験で戸惑いを感じる場面も多く、皆様へ議員としての議会活動のご報告が大変遅れましたことに心からお詫び申し上げます。

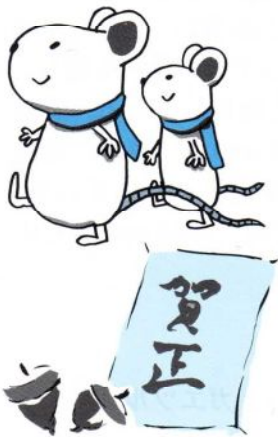
さて、昨年の彦根市は、国宝彦根城築城400年祭という一大イベントが開催され、76万人の観光客で賑わいを博し、成功裏のなか閉会を迎えました。また、20年度は日米修好通商条約締結150周年記念事業が計画され、引き続き観光客の増加が期待されています。

一方、稲枝地区におきましては、長年の懸案である稲枝駅の改築整備及び駅周辺整備の早期実現が強く求められており、市当局への要望活動を毎年粘り強く実施していますが、昨年12月議会におきま

て、市当局から「稲枝駅周辺整備計画案」を策定し、地元と協働して取り組むとの答弁があり、今後「稲枝駅改築整備促進期成同盟会」等を中心に協議が進められていくこととなります。

また、湖東地域広域ごみ処理施設建設の候補地としての適否を判断するため、石寺地先における地質調査が実施されることになりましたが、その結果を注視しながら地元の皆様との慎重なる協議が行われるよう望んでおります。

議会に送って戴きまして2年目を迎えることとなりますが、豊かな自然と文化に育まれた彦根市がもつと元気なまちになるよう、地道に活動を積み重ねていきたいと思っておりますので、変わらぬご支持、ご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



12月定例議会より

〔今期定例会に提出された提出議案は29件であり原案どおり可決しました〕

◎予算関係(抜粋)

- 19年度一般会計補正予算
- 市政運営に係る関連機関との連絡調整事業(仮称) 日米修好通商条約締結150周年記念事業に伴う必要な経費について補正するもの

- 減債基金積立金(市の借金を返済するための積立)

- 財政の早期健全を図るため、市債の償還に必要な財源を確保して、将来にわたる財政の健全な運営が行えることを目的に減債基金への積立を行うもの
- 広域ごみ処理施設新設促進事業
- 湖東地域広域ごみ処理施設建設の候補地としての適否を判断するため、石寺地先において地質調査を実施する費用について補正するもの

- 生活保護費、障害者介護福祉事業等の障害福祉サービス給付費、児童手当等の増額補正するもの

◎条例関係(抜粋)

- 彦根市ペット葬祭施設の設置等に関する条例案

ペット葬祭施設について、周辺住民の生活環境を保全するため、施設の設置・管理が適正に行われるよう条例制定するもの

- 彦根市営住宅の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案

市営住宅から暴力団員を排除するため、所要の改正をするもの

- 彦根市文化財保護基金の設置、管理および処分に関する条例案

市内に所在する文化財の保存整備や活用を推進していくための基金を設置するもの

1 JR 稲枝駅改築整備及び稲枝駅周辺整備について

Q 稲枝地区連合自治会及び稲枝まちづくりの会は、今日までその実現に向けた要望活動をあらゆる場で行ってきており、稲枝地区住民と稲枝駅を利用願っている近隣各町の思いが結実して「期成同盟会」が設立されたところである。また、JR 稲枝駅・京都駅間においても老朽化した最後の駅舎となっているが、こうした現状を踏まえ市当局の見解を問う。

A 稲枝駅の改築については、駅舎の改築にとどまらず駅周辺の一体整備が必要と考えており、まず稲枝駅西地区を中心とした、駅周辺整備計画が必要となることから、市において「稲枝駅周辺整備計画案」を作成し、関係自治会等に諮っていきたい。

Q 市が示された「稲枝駅周辺整備計画案」の策定時期について伺う。

A 策定時期については、今のところ平成20年度に予算化を図っていききたいと考えている



老朽化した稲枝駅舎

Q 駅舎改築事業等における予算措置については、最重点課題と考えるが、基金条例等の設立が不可欠であるが、市の見解を問う。

A 駅舎整備の方向性が示され、事業計画が策定された段階で、資金計画に基づいて財源確保していききたいと考えている。

2 民生委員児童委員が果たす業務について

Q 地域における民生委員児童委員の皆様が果たす役割は、社会的弱者の見守りや支援、青少年の健全育成等多岐にわたった地域福祉活動に取り組んで戴いているが、人口が増加した地域では、委員の担当世帯が増え、過重な負担が強いられている。今後、委員の増員等課題と対応について市の見解を問う。

A 65歳以上の高齢者が占める人口比率は、平成13年度17%、平成18年度19%と増加している。急激な少子高齢化の進行や家族の小規模化など社会を取り巻く環境が大きく変化するなかで、福祉に期待される役割も変容しており、地域での民生委員児童委員の果たす役割はますます大きくなっている。人口や世帯数の増加する地域と高齢化が進む地域における委員の配置にあたっては、地域の実情に応じて対応する必要を認識している。

3 神上沼公園の整備及び環境対策について

Q 公園整備から13年が経過し、設備の補修整備、狩猟禁止区域の指定、外来植物（ナガエツルノゲイトウ）の除去等について市の対応を伺う。



外来植物が群生した神上沼

A 公園東側の浮き栈橋の改修は、年度内完成を目指しており西側については、次年度以降予算の確保を図り改修も含め検討する。周辺道路の農道は管理されている愛西土地改良区で整備されるものと考えているが、事業実施にあたっては予算の範囲内で土地改良事業補助金として支援していきたい。公園東側の一部狩猟可能区域については、地元の要望に沿えるよう対応したい。また、外来植物の除去については、機械による除去を検討したい。

ご意見・ご要望をお聞かせ下さい

西川まさよし後援会事務所

☆ 御連絡先 彦根市下西川町687 (〒521-1142) Tel・Fax 43-4988
 メールアドレス info@nishimasa.jp